

第四十一回帝國議會 院 地方鐵道法案外四件

輕便鐵道補助法中改正法律案
鐵道船舶郵便法中改正法律案
鐵道營業法中改正法律案

委員會會議錄(速記)第四回

會議

大正八年三月四日午後一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

戶水 寛人君 小林 源藏君 粕谷 義三君
齋藤 壽雄君 兒玉 好熊君 高橋嘉太郎君
降旗元太郎君 西 英太郎君 正木 照藏君
川村 精之君 綾部惣兵衛君 前川 虎造君
藤井 善助君 古川 清君 林 平四郎君
出席政府委員左ノ如シ

鐵道院理事 中川 正左君
鐵道院理事 佐竹 三吾君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道法案

輕便鐵道補助法中改正法律案

鐵道船舶郵便法中改正法律案

鐵道營業法中改正法律案

○委員長(法學博士戶水寛人君) 委員會ヲ開キマス、前

回ニ於テ總體ノ質問ハ終リテ告ゲタヤウデアリマスガ、直グ

ニ本案ノ討論ニ移シテ宜ウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士戶水寛人君) 然ラバ先ヅ第一ニ地

方鐵道法案ヲ議題ニ供シマス

○降旗元太郎君 本案ハ大體ニ於テ私設鐵道法ト輕便

鐵道法トノ廢止、兩法ニ含マシタル總テノモノヲ一括シ

テ、時勢ニ適應スルヤウニ案ヲ立テラレタノデアリマスカラ、

此點ニ於テ至極結構ノコト、存ジマス、併ナガラ茲ニ廢止

スルニツノ法ヨリモ、非常ニ古イ軌道條例ガ別ニ存スルコ

トハ、本法制定ノ上ノ瑕疵ト思ヒマス、故ニ私ハ軌道條例

ニアルコトヲモ、彼ヲ廢シテ之ニ合セテ、サウシテ此法ヲ完全

ナモノニシタイト云フノガ希望デゴザイマス、ガ質問ノ間ニ

解シテ所ニ依レバ、軌道條例ノ方ハ道路法ノ制定後、施行

細則ノ制定ヲ終リタル後ニ於テ、矛盾ナキヤウニシナケレバ

ナラヌカラ、今此處デ軌道條例ヲ廢シテ、其中ニ含マレタル

意味ヲ合セテ此法ヲ制定スルコトガ出來ナイノダト云フ御

説明ヲ承リマシタ、然ラバ私ノ本論カラ言ヘバ、道路法ハ既

ニ衆議院ノ議事ニ上テ居ルノデアリマスカラ、又此道路法

ノ提案セラル、前ニ、政府ニ施行細則ノ腹案ガ既ニ定テ

居ル筈デアデ、是ハ衆議院ニ諮ル必要ハナイノデアルカラ、

道路法ハ貴衆兩院ノ決議ヲ經タル後ニ、又施行細則ニ就

テ新ニ詮議ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトガ殘ラデ居ル

ベキ謂ハレハナイ筈デアアル、總テ政府ニ於テハ道路法ノ議決

セラル、ト同時ニ、施行細則ニ付テノ御腹案ハアルモノト見

テ宜シイノデアリマスカラ、必ズシモ當議會中ニ道路法ノ

決定ヲ待テ、然後ニ軌道條例マデ併セタル本法ヲ制定

スルコトニ御差障リハナイ筈デアアル、常識デ左様ニ判斷スル

而シテ私ノ望ヲ言ヘバ、軌道條例、又是ハ餘ニ古ボケテ居

ルモノデアルカラ、廢シテソレニ含シタル總テノモノヲ本法ニ

含マセル、ソコデ所謂地方鐵道法ト云フモノガ完全ニナル、

斯様ニ致シタイノデアリマス、是ハ私ノ本當ノ望デアアル、併

シ段々ノ御説明ヲ伺ヒ見ル、目前ニ迫リシ急ニ解決セザ

ルベカザルモノモアルヤウニ思フシ、元來本法ノ趣旨ニ反對

ヲスルノデナイカラ、是ハ政府委員ノ御説明ニ信賴ヲシテ、

サウシテ吾々ノ意見ヲ決定スル方ガ宜カラウト思フ、ソコデ

唯今申スヤウナ望ヲ持テ居ルカラ、唯、本法ニ賛成ト云フ

ダケデハ私ノ望ヲ徹底シテ言葉ニナラヌト思フカラ、茲ニ

語ヲ添ヘテ置キタイト思フ、ソレハ政府委員ノ説明セラレタ

ル如ク、遅クトモ次ノ議會マデニハ地方鐵道法ト軌道條例ニ

含マレタルモノト併セテ、完全ナル地方鐵道法ノ提案ガアル

ルモノト云フ御説明ヲ信ジテ、サウシテ其時ニハ古色蒼然

タル軌道條例ガ別ニ存シテ居ルト云フヤウナコトデナシニ、

完全ナル地方鐵道法ガ出來ルモノト信ジテ、ソレカラ尙ホ

モウ一ツ言ヒマスルト、此軌道條例ノ方デハ人カトカ馬カ

トカ云フモノニ依ルモノヲモ含マシテ居ルシ、ソレカラ鐵道法

ノ方デハ其人力カ又ハ馬力其他之ニ類スルモノヲ動力トナ

スヲ得ズト云フコトニナラデ居リマス相違ハアリマスケレド

モ、是等ハ日進月歩ノ世ノ中デアリマスルカ、軌道條例ノ方

ノ支配ヲ受ケテ居ルモノデモ、石炭ヲ焚クヤウニナルトカ、一足

飛ヒ電力ヲ用井ルモノモアルト云フコトニナルノハ、當前ダト

思ヒマス、ソレカラ其電力ヲ用井ル軌道ガ、地方鐵道法ニ

依ッテ支配セラル、モノヨリモ、幾倍幾十倍ナル資本ヲ以テ

取掛ラナケレバナラヌコトモアル、サウ云フモノヲ一括シテ、此

地方鐵道法ニ支配ヲセラル、コトニナルモノト信ジテ、ソレ

カラモウ一ツ言ヒマスルト、本法第四條ニ「地方鐵道ハ之ヲ

道路ニ敷設スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テ主

務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス」此條ニ於

テ云フ所ノ主務大臣ハ內務大臣ノコトデアデ道路法ハ內務

大臣ノ所管デアルカラ、內務大臣ノ許可ヲ受ケナケレバ道路

法ハ敷設スルコトガ出來ナイト云フコトヲ規定シタ條項デアリ

マスケレドモ、此條項ノ如クコシガラカッタ條項ノ本法ニ存在

スルノハ、矢張私ハ瑕疵ダト思フ、若シ軌道條例ナクシテ、

本法ガ存在スルナラバ、瑕疵ダトハ認メマセヌ、而シテ軌道

ト云フモノハ是ハ同ジヤウナ鐵道デアリマス、軌道即チ鐵道

デアリマス、鐵道ヲ一方デ內務大臣ノ管掌ノ下ニ置クガ

ニ敷設スルコトガ出來ナイト云フコトヲ規定シタ條項デアリ

マスケレドモ、此條項ノ如クコシガラカッタ條項ノ本法ニ存在

スルノハ、矢張私ハ瑕疵ダト思フ、若シ軌道條例ナクシテ、

本法ガ存在スルナラバ、瑕疵ダトハ認メマセヌ、而シテ軌道

ト云フモノハ是ハ同ジヤウナ鐵道デアリマス、軌道即チ鐵道

デアリマス、鐵道ヲ一方デ內務大臣ノ管掌ノ下ニ置クガ

爲メニ軌道ト云フ名前ヲ持チ、一方ハ鐵道院總裁

所管ノ下ニ置クガ爲メニ鐵道ト云フ、同ジ鐵道デアリナガ

ラ、一方ハ軌道、同ジ鐵道デアリナガラ、一方ハ鐵道ト云フ、

斯ウ云フヤウナ事モ不自然ダト私ハ思ヒマス、ソレ故ニ若シ

此軌道條例ト云フモノヲ本法ニ合併ヲシテ、サウシテ軌道

ニ關スル事、即チ鐵道ニ關スル事ハ、一切本法ノ管理ヲ受

クル、斯ウ云フコトニナリマシテ、而シテ道路法ニ依ッテソレニ

接觸スル場合ニ於テノミ、始メテ主務大臣即チ內務大臣ノ

許可ヲ受クル、斯ウ云フコトニスレバ簡單明瞭ニ、鐵道即チ

軌道ニ付テノ法律ガ之ニ一括サレルト云フコトニナルノデア

リマスガ、政府委員ハ左様目目的ヲ以テ當面ノ急ニ應ズル

必要上、本法ハ此處テ議決シテ貰ヒタイ、斯ウ言ハレタルモ

ノト信シテ、是等ノ私ノ信ジ方ガ正シキ信ジ方デアルトラバ

元來本法ノ精神ニ於テ少シモ異存ノナイコトデアリマ

スカラ、イヤハ話弊ガアリマシタ、多少ノ精神ニ關係ノ

ナキコトデ、本法ニ修正意見ハアラウト思ヒマス、其修正意

見ヲモ含メテ異議ナキモノト言フタノデアリマス、精神ニ

於テハ、唯今マデ色々承ッテ居ル 委員諸君ノ御意見ニ於テ

モ精神ニ於テ御異存ハナイヤウデアリマスガ、私ニ於テモ精

神ニ於テ異存ハナイ、其他此精神ヲ徹底セシムル爲メニ修

正ヲ要スル多少ノ御意見ハ、私既ニ承ッテ、成程ト首肯サレ

ル事モアリマスカラ、其等ニ付テハ兎モ角モ、大體本案ニ付

テ、精神ニ於テ軌道條例ト區別セラレルノハ反對デアリマ

スケレドモ、政府モ亦之ヲ本法ト併セテ完全ナル法律ニスル

意圖アルモノタルコトヲ信ジテ、大體ニ於テ異存ハナイ、是ダ

ケノ事ヲ茲ニ言明致シテ、大體ノ事又精神ニ於テハ異存ガ

ナイト云フダケヲ一言シテ置キマス

○小林源藏君 此地方鐵道法案ハ、大體ニ於テ賛成スル

ノデアリマス、殊ニ私設鐵道法ハ今日ニ於テハ何等ノ適用

ガナクナリマシタノデ、私設鐵道ヲ買收スル同時ニ、私設

鐵道法ト輕便鐵道法ノ萃ヲ抜イテ、茲ニ整理ヲセラレト

云フコトハ、蓋シ必要ノコトデアアラウト思ヒマス、而シテ此法

案ニ於テハ中ニ進歩シタル規定ヲ設ケラレタノデアリマ

ス

ス、是マデハ官權萬能ノ意味ニ於テ政府ガ既設私設鐵道ニ並行シテ鐵道ヲ敷ク場合ニ於テ、非常ノ損害ヲ受ケタニ拘ハラズ、何等補償等ノコトヲヤシテ居ラレマセヌガ、此法律ニ於テハ其等ノコトモ規定サレテアリマス、極ク公平ノ進步シタル改正案ト思フデ居リマス、大體ニ於テ賛成ヲ致シマスガ、私ハ茲ニ二ツノ修正ヲ出シタイト思フノデアリマス、其ハ第三十條ノ第二項トシテ「地方鐵道ノ一部ヲ買收セラレタル爲殘存線路ノニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ該線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得」ト云フ條項ヲ加ヘタイト思ヒマス、今一ツハ第三十四條ト致シマシテ「買收ヲ受ケヘキ地方鐵道業者カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資產ヲ併セテ買收スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テ買收價格ハ協定ニ依ル」此一條ヲ加ヘマシテ、原案ノ三十四條以下ハ順次繰下ゲルノデアリマス、此法律ニ依リマス第三十條ニ於テ地方鐵道全部又ハ一部ヲ政府ガ買收セントスルトキハ、地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトガ出來ナイトアッテ、即チ強制買收ニナリテ居リマス、然ルニ其鐵道ノ一部ヲ買收セラレタルガ爲メ、殘存セル一部ノ鐵道ガ收益少クシテ、營業ヲ繼續スルコトガ出來ナイト云フ場合ニ、何等之ニ關係セズシテ、政府ノ必要トスル所ダケ買收スルヲ以テ足レリトスルコトハ、鐵道業者ニ對シテ實ニ苛酷ノコト、思ヒマス、其殘存セル部分ガ營業ヲ繼續スルコトノ出來ナイヤウナ場合ニハ、ドウゾ是ヲ買收セテ戴キタイト云フコトヲ申請シテ、政府ニ買收セラレルノ途ヲ開イテ置クコトハ穩當ト信ジマシテ、此條項ヲ一ツ加ヘタイノデアリマス、ソレカラ鐵道ノ買收スルコトヲ規定シテ置キマシテ、其鐵道ガ兼業ヲナシテ居ル場合ニ、兼業ノ買收ノ規定ガナイノデアリマス、ソレデ鐵道ノ營業ト其兼業ガ餘リニ縁遠クシテ、併立シ難イヤウナモノハ、固ヨリ買フコトヲ困難トスルデアリマセウケレドモ、常識カラ考ヘテ見テ、鐵道ト兼業シテ餘リ不相當デナイヤウナ事業ニシテ、且ツ買收セラレタガ爲メニ、其兼業ノミデハ會社トシテ到底營業シ兼業ヲヤウナ場合ニハ、其兼業ヲ併セテ買收シ得ルノ途ヲ開イテ置クコトハ、會社ニ取ッテモ相當ノコトデアルト思フノデアリマス、政府委員ハ必要ノ場合ニ於テハ、豫算若クハ買收ノ法律案ヲ新タニ提出シテ、其權利ヲ買收スルコトガアルト云フコトヲ申サレマシタケレドモ、既ニサウ云フ考ガアリマシタナラバ、豫メ營業ヲモ買收シ得ルト云フ規定ヲ設ケテ置ク方ガ宜カラウト思フノデアリマス、依テ此二ツノ修正意見ヲ提出シタ次第デゴザイマス

○降旗元太郎君 唯今小林君ノ御提案ニ對シテハ賛成致シマス、殊ニ「スルモノトス」ト言ハズニ「スルコトヲ得」トセラレタ所ニ、實ニ用意ノ周到ナルヲ認メマス、故ニ小林君ノ御提議ニハ全然賛成致シマス

○林平四郎君 私人眼病ノ爲メ前回ニ缺席致シマシタノデ、最早ヤ質問モ終ツタヤウデ甚ダ相濟シマセヌガ、一箇條ダゲ質問ヲ致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス

○委員長(法學博士戸水寬人君) ドノ條文デスカ——簡單ナラバ宜シウゴザイマス

○林平四郎君 第三十五條デゴザイマス、此三十五條ニ「政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコトヲ得殘存線路ノニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ亦同シ」トアリマスガ、今マデアリマス鐵道ガ假ニ十哩アッテ、是マデ六六ノ利益ノ配當ガアツタ、ソレガ五哩買收サレタガ爲メニ、後ノ半分デハ六六ノ配當ガ出來ナイト云フヤウニナリタ場合ハドウナリマス、一寸其事ヲ伺ヒマス

○政府委員(佐竹三吾君) 今ノ御尋ハ三十五條ニハ關係ガナイヤウデゴザイマス、今ノ御尋ハ十哩ノ鐵道ガアツタモノヲ五哩買收セラレタト云フトキニ、其買收ノ價格ハドウスルカト云フ御尋デスカ

○林平四郎君 條文ハ違ヒマシテモ、サウ云フ風ノ場合ニハドウナリマス、ドノ條文デモ宜シウゴザイマス

○政府委員(佐竹三吾君) 其殘リマシタゲデ營業ヲ繼續スルコトガ出來ナイ場合ニ、補償ヲスルコト云フコトハ三十五條ノ主旨デゴザイマス、其繼續スルコト能ハズト云フコトノ認定ニ於キマシテハ、ドウ云フ標準ニ依リカト云フ御問デアラウト思ヒマス、是ハ前ニモ御答申シマシタ通り、此標準ヲ定メルコトハ困難デアリマシテ、其場合々々ニ種々ナル事情ヲ綜合致シマシテ、果シテ繼續ガ困難カドウカト云フコトヲ認定スルノ外ハアリマセヌ、ソレデ唯今此處デ五分ノ利益ニナツタ四分ノ利益ニナツタ、三分ノ利益ニナツタガ爲メニ、此條項ヲ適用スルカシナイカト云フコトハ申上ゲ兼ネル次第デゴザイマス、ソレハ其場合々々ニ就テ會社ノ從來ノ營業成績、將來ノ收益ノ見込、地方ノ經濟狀態等ヲ考ヘマシテ、適當ニ定メル外ハナイト心得テ居リマス

○委員長(法學博士戸水寬人君) 尙ホ政府委員ニ御尋致シマスガ、唯今小林君ノ修正ニ對スル御意見ハ如何デゴザイマス

○政府委員(佐竹三吾君) 第三十條ノ第二項ニ、一部買收セラレタ爲メニ、其殘存線路ダケデ此營業ヲ繼續スルコトガ出來ナイヤウニナリマシタトキニハ、其殘部ノ買收ノ申請ガ出來ルト云フコトハ、是ハ政府ニ於テモ同意デアリマス、ソレハ何故カト申シマスレバ、此五十五條ニ於テモ一部分政府ノ鐵道ト並行或ハ接近シタガ爲メニ、其部分ノ營業繼續ガ出來ナクナツタ、此場合ニ其部分ニ補償ヲ致シマスルガ、更ニ其部分ノ營業ヲ廢止シタ結果、殘タ部分ニ付

テ營業ノ繼續ガ出來ナクナツ場合ニモ、同ジヤウニ其補償ノ規定ヲ定メテ居ルノデアリマス、サウ云フ趣旨カラ考ヘマシテ、一部買收ノ爲メニ其殘部ノ營業ノ出來ナイ場合ニハ、矢張政府ハソレヲ買收スルコトヲ得、會社ガ其殘部ニ付テ營業ノ出來ナクナツ場合ガ全然顧ミナイト、斯ウ云フ趣旨デ規定サレタモノデナイノデアリマス、規定ノ趣旨ヲ一層明瞭ニスル爲メニ、一項ヲ御加ヘニナルト云フコトニ付テハ、政府ト致シマシテモ、兼業ヲ買收スルコトノ出來ル規定ヲ設ケルト云フ御修正ハ、是ハ前ニモ申上ゲマシタ通り、政府デ必要ト認メマス、兼業ハ、其時ニ相當ノ方法ヲ講ズル、政府ノ必要ト認メマセヌ兼業ハ買收スルコトハ出來ヌト云フコトヲ御答致シタノデアリマス、其意味ニ於キマシテ豫メ茲ニ規定ヲ設ケテ置クコトニ付テハ、政府ニ於テモ異議ハナイノデアリマス、ソレデゴザイマス、此規定ヲ追加スルコトニ付テハ同意致ス考デアリマス

○委員長(法學博士戸水寬人君) 小林君ノ修正意見ニ對シテ反對ハアリマセヌカ

○委員(法學博士戸水寬人君) 然ラバ小林君ノ修正意見ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、他ニ御意見ガナレバ次ニ移リマス、即チ輕便鐵道補助法中改正法律案之ニ付テ御意見ガアリマス

○小林源藏君 是ハ原案ノ通り全部賛成致シマス

○委員長(法學博士戸水寬人君) 他ニ御意見ガアリマス

○委員(法學博士戸水寬人君) 御異議ガナレバ原案通り可決致シマシタ、次ハ鐵道抵當法中改正法律案、之ニ付テ御意見ガアリマス

○小林源藏君 之ニ付テモ政府案ノ通り賛成致シマス

○委員(法學博士戸水寬人君) 之モ原案通り可決致シマシタ、次ニ鐵道船舶郵便法中改正法律案

○小林源藏君 之モ政府案通り賛成致シマス

○委員(法學博士戸水寬人君) 然ラバ之モ原案通り可決致シマシタ、次ハ鐵道營業法中改正法律案

○正木照藏君 此案ニ付キマシテ政府委員ト色々質問應答致シマシテ、少シ不十分ナ所ガアルヤウニ感ジマス、レドモ、段々承テ見ルト、大抵私ノ希望モ含マレテ居ルヤウデアリマス、別ニ修正案ハ出シマセヌカラ、第三條ナリ第十

三條ナリニ付テ私ノ申シタコトヲ、政府委員ノ方ニモ能ク御諒承ヲ願フ、或ハ運賃其他ノ運送條件等モ成ベク前以テ御攻究ヲ願ヒタイト云フコトヲ中上ゲテ、私ハ原案ニ異議ハアリマセヌ

○小林源藏君 私モ政府案ニ賛成デアリマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長（法學博士戸水寛人君） 然ラバ本案モ御異議ガナケレバ原案通り可決致シマシタ、是デ全部終了致シマシタ、散會致シマス

午後二時十六分散會

大正八年三月十三日印刷

大正八年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局